

2016 年度春学期授業評価アンケート集計結果について

2017 年 8 月 25 日

<設問別>

※設問は大きく四つのカテゴリー、< A : 履修者の自己評価 > / < B : シラバスについて > / < C : 担当者と授業について > / < D : 授業の成果について > に分けられ、全部で 10 の設問があります。これに加えて、最後に、設問 11 として < E : 授業外学修時間 > について尋ねています。

設問区分		設問
A	問 1	私は、自主的かつ意欲的に取り組んで、この授業を受けた。
B	問 2	私は、この授業を履修する際、何を学習するかを理解するために、シラバスを読んだ。
C	問 3	担当者は、シラバスで授業の目標や計画、授業の評価方法を適切に示していた。
	問 4	授業は、授業の目標達成のために計画的に進められた。
	問 5	授業は担当者の教え方（説明の仕方や話し方）は適切だった。
	問 6	授業の内容はわかりやすかった。
	問 7	授業の進度は適切だった。
D	問 8	授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行い、適切な助言を与えたり質問に答えたりしてくれた。
	問 9	私は、この授業によって学習意欲が喚起された。
	問 10	総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。
E	問 11	この授業の授業時間外の学習時間（授業 1 回ごとの平均）※該当するものにマーク ① 30 分未満、② 30 分～1 時間、③ 1～2 時間、④ 2～3 時間、⑤ 3～4 時間、 ⑥ 4 時間以上

※設問に対する回答（1～10）は、以下の選択肢から選ぶように求められた。

回答内容	マークシートの記入番号
全くそう思わない	1
そう思わない	2
どちらかといえばそう思わない	3
どちらかといえばそう思う	4
そう思う	5
強くそう思う	6

<教育課程全体>

366 科目について、のべ 8207 人から回答を得た。

学部教育課程全体として、ここ数年来特に変化なく、④「どちらかといえばそう思う」から⑥「強くそう思う」の肯定的評価を受けており、総合的には 5.0（8 割）以上のプラス評価を受けているといえる。

設問区分ごとのコメント

A. 受講者自身の自己評価について

ここでは①～③の消極的的回答は 5.7%にとどまり、授業科目を意欲的に受けたと自己評価する学生が 9 割以上となる結果であった。

B. シラバスについて

ここでは①～③の消極的的回答は 13.5%であり、科目選択の際にシラバスに目を通していない学生が漸減しているとはいえ依然として 1 割弱ではあるが存在しており、読むことの重要性を引き続き説くことが必要である。

C. 担当者と授業について

この項目では、6 ポイント中の 5.0～5.1 の範囲で回答が収まっていることから、学部教育課程全体としておおむね高い授業評価を受けていると言える結果となった。

D. 授業の成果について

設問 9 の学習意欲が喚起されなかったと回答した（①～③）学生が 9.2%、設問 10 の授業が有益でなかったと回答をした（①～③）学生が 6.3%存在する。これをゼロにすることは容易ではないが、逆にみれば、学部教育課程全体の授業成果についてとても肯定的に受け止めている学生が多いことを積極的に評価しておきたい。

E. 授業外学修時間について

1 単位科目（45 時間の学修時間必要）では週 1 回の授業に対し授業外学修時間として 1 時間必要とされ、2 単位科目（90 時間の学修時間必要）では週 1 回の授業に対し授業外学修時間として 4 時間が必要とされている。ここでは学部教育課程全体として集計されている結果が一括して示されているので、それぞれの科目カテゴリー毎でのコメントに譲ることとするが、それにしても、①（30 分未満）から③（1～2 時間）で回答の 8 割に及ぶ勢いであることは由々しき状況であるといわざるを得ず、圧倒的に学修時間不足であることを示している。授業外学修で何をすべきかを指示するのみでなく、これを点検・評価する科目設計の実質化がますます求められることになりそうである。もちろん、学生たちの授業外学修時間を担保する学部教育課程の科目配置も同時に準備されなければならないだろう。

（文責：教育支援部長 山川）

(全体集計表)

設問区分		設問		実数(人)	割合(%)
A	問1	私は、自主的かつ意欲的に取り組んで、この授業を受けた。	①	34	0.5
			②	81	1.3
			③	248	3.9
			④	1236	19.4
			⑤	2695	42.4
			⑥	2063	32.5
B	問2	私は、この授業を履修する際、何を学習するかを理解するために、シラバスを読んだ。	①	110	1.7
			②	228	3.6
			③	520	8.2
			④	1329	20.9
			⑤	2327	36.6
			⑥	1841	29.0
	問3	担当者は、シラバスで授業の目標や計画、授業の評価方法を適切に示していた。	①	22	0.3
			②	69	1.1
			③	264	4.2
			④	1347	21.2
			⑤	2501	39.4
			⑥	2147	33.8
C	問4	授業は、授業の目標達成のために計画的に進められた。	①	18	0.3
			②	44	0.7
			③	165	2.6
			④	1120	17.6
			⑤	2654	41.8
			⑥	2346	37.0
	問5	授業は担当者の教え方(説明の仕方や話し方)は適切だった。	①	32	0.5
			②	87	1.4
			③	219	3.5
			④	1073	16.9
			⑤	2443	38.5
			⑥	2492	39.3

(全体集計表続き)

C	問6	授業の内容はわかりやすかった。	①	43	0.7
			②	120	1.9
			③	300	4.7
			④	1122	17.7
			⑤	2417	38.1
			⑥	2348	37.0
	問7	授業の進度は適切だった。	①	21	0.3
			②	65	1.0
			③	205	3.2
			④	1079	17.0
			⑤	2572	40.5
			⑥	2402	37.9
	問8	授業担当者は、学生が質問や相談しやすい環境・雰囲気作りを行い、適切な助言を与えたり質問に答えたりしてくれた。	①	36	0.6
			②	106	1.7
			③	259	4.1
			④	1142	18.0
			⑤	2280	35.9
			⑥	2526	39.8
D	問9	私は、この授業によって学習意欲が喚起された。	①	76	1.2
			②	158	2.5
			③	351	5.5
			④	1323	20.8
			⑤	2366	37.3
			⑥	2076	32.7
	問10	総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。	①	50	0.8
			②	97	1.5
			③	256	4.0
			④	1155	18.2
			⑤	2288	36.1
			⑥	2499	39.4
E	問11	この授業の授業時間外の学習時間(授業1回ごとの平均)※該当するものにマーク ① 30分未満、② 30分～1時間、③ 1～2時間、④ 2～3時間、⑤ 3～4時間、⑥ 4時間以上	①	1287	20.3
			②	1993	31.5
			③	1605	25.4
			④	697	11.0
			⑤	450	7.1
			⑥	296	4.7